

弘大生団体 購入へCF開始

弘前市でフランス文化の情報発信などを行っている弘前大学の学生団体「弘前グローバルアクション」のメンバー5人が「新型コロナウイルス禍でも学生が行動し、市民に勇気を与えたい」と、インターネット上で資金を集めるクラウドファンディング（CF）

弘
前

を始めた。目標金額を150万円に設定し、欧州の楽器「手回しオルガン」のパーツの購入資金に充てるが、目標金額に届かなかった場合は計画を破棄し、支援金を返金する。目標を達成した場合は、12月に参加者と組み立てる催しを開く予定。（渡部雅士）

目標150万円 コロナ禍でも勇気を



例年、使用している手回しオルガン（弘前グローバルアクション提供）

手回しオルガン 響け希望の音

手回しオルガンは、同団体が土手町の蓬萊広場で毎年開催している青空市「フランス日和〜マルシェ」で使用している。仙台在住で一点物の楽器

器などを製作している島野裕次さん(49)から借用していたが、異国の情緒を感じさせる音が来場者に好評だったため購入を決めた。

支援は3千円（学生は500円）からで、金額に応じて組み立てイベントの参加券などがもらえる。CFサイトの

キャンプファイヤー（<https://camp-fire.jp/projects/view/292056>）は10月31日まで募集する。

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです